

■殺虫剤：農業・家庭園芸用

有機リン系

カルホス[®]粉剤

登録番号：13290

毒性：—

消防法：—

有効年限：4年

成分 イソキサチオン……2.0%

物理的・化学的性状 類白色粉末45 μ m以下

包装：3kg \times 8 1kg \times 20

◆特長

- 持続効果があり、防除しにくいコガネムシ、ネキリムシ類に卓効を示します。
- 悪臭、刺激性がなく使いやすい薬剤です。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
だいこん はつかだいこん	タネバエ ネキリムシ類	6kg/10a	は種時	1回	土壌表面散布 土壌混和处理	1回
はくさい キャベツ	ネキリムシ類		は種時又は 植付時	2回以内		4回以内 (は種時は1回 以内、植付時は 1回以内、植付 後は2回以内)
ねぎ						2回以内
わけぎ あさつき レタス 非結球レタス トマト ミニトマト なす						
きゅうり	タネバエ	4～6kg/ 10a	は種時	1回	1回	
ほうれんそう	播溝土壌混和					
なばな類 (オータムポエムを除く)	ヨトウムシ類	6kg/10a				定植時
オータムポエム	ネキリムシ類				土壌表面散布	
だいず	タネバエ	4～6kg/ 10a	は種時	2回以内	作条施用 土壌混和	2回以内
	ネキリムシ類		は種時又は 定植時			
			4kg/10a			

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
えだまめ	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg/ 10a	は種時	1回	作条施用 土壌混和	5回以内 (粉剤及び粉粒剤のは種時の処理は合計1回以内、粉剤及び粉粒剤の定植時は合計1回以内、粉剤の土壌表面散布は1回以内、粒剤の土壌表面株元処理は2回以内)
	定植時					
ネキリムシ類	4kg/10a	は種時～ 本葉2葉期	土壌表面散布			
豆類 (種実、ただし、 だいずを除く)	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg/ 10a	は種時		作条施用 土壌混和	
さやえんどう	コガネムシ類幼虫	9kg/10a				
さやいんげん	タネバエ	6kg/10a	植付時	土壌表面散布 土壌混和処理	1回	
実えんどう	コガネムシ類幼虫	9kg/10a				
いちご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	成虫飛来初期 ～盛期	5回以内	散布	5回以内
うど	センノカミキリ	6kg/10a	定植時	1回	株元散布	1回
ほうきぎ	ネキリムシ類		6～9kg/ 10a		植付前	土壌表面散布 土壌混和処理

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- (2)本剤は地表面全面に均一に散布し、表層土壌とよく混和すること。作条処理の場合は、は種又は植付ける作条になるべく幅広く散布し、土壌とよく混和すること。植穴(播穴)処理はさけること。
- (3)いちごに使用する場合は、仮植床で使用し、床面全面に均一に散布して表土とよく混和すること。
- (4)うどのセンノカミキリの防除に使用する場合、地際部によくかかるよう散布すること。
- (5)つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- (6)蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (7)ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (8)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (9)取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

(1) 散布の際は農薬用マスクなどを着用すること。作業後はうがいをすること。

◆魚毒性

(1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。

(2) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。